

需給推計(案)全般

- 都道府県提出データから得られた2025年時点の看護職員需給推計の本分科会としての精査・確定に向けてご議論いただきたい。
- 2025年時点の地域医療構想等実現を前提とした推計であることを踏まえ、本推計に基づく今後の施策において、国や各都道府県が今後留意すべき考え方について、ご議論いただきたい。

確保策

ナースセンターにおける看護職員の求人倍率は全国平均で2.36と高く、現場の不足感を訴える声は全国的に根強く指摘されている。現時点の不足解消に向けた当面の確保策も重要である。その一方で、本需給推計の対象となる2025年に向けた布石として取組が求められる施策も別途考える必要があるのではないか。

当面及び2025年に向けた施策として国、都道府県、ナースセンター等が取り組むべき施策について、今回得られた需給推計(案)を踏まえて、ご議論いただきたい。

1. 新規養成、復職支援、定着促進の従来の看護職員確保策3本柱について
2. 病棟勤務等から地域包括ケア領域(訪問看護等)への需給調整を進めるために必要な施策
3. 看護職員は養成された地域(出身地等)において勤務を継続する傾向や、女性比率が高いことを踏まえ、転居を伴う異動・転職を前提とした広域的需給調整よりも、同一県下や近隣医療圏での需給調整が実効的とも考えられるが、地域を越えた調整のために求められる施策はどういったものか
4. その他諸課題